

# 遠野の自然を描き続けたい

多田 礼子 さん

ただ・れいこ 東館町 75歳



多田礼子さんの油絵の作品「春を待つ小鳥」が、七月二十日から二十二日まで、イタリアのヴェローナで開催される「第四回ラ・メラヴィリア『日伊芸術驚異と美の饗宴』」に出品される。

子どものころから絵を描くことが好きで、高校時代は美術部に所属していた多田さん。仕事や子育てなどで長い間離れていた油絵を、二十年ほど前から再開した。

「風雪に耐え、文句の一つも言わずに立っている木の姿が好き」と話すように、自然を見て歩き、目に焼きついた風景を描き続ける多田さんの作品には、必ずといっていいほど樹木が描かれている。

自然から受けた感動を、見事な筆使いで描く多田さんの作品はこれまで、県美術展に十四回入選しているほか、国内外の数々の作品展で受賞するなど、高い評価を得ている。

「絵を描いている時間が一番幸せ。絵を通じて多くの人との出会いは、とても大きな財産になっている」と話す多田さん。

絵を描くこと以外にも、旅行や華道を趣味としている。「いろいろな所を旅しているが、遠野ほど四季折々の景色が素晴らしいところはないと思う。これからも、絵を通じてこの素晴らしいさを多くの人に伝えたい」と笑顔で話す多田さんは、今日もキャンパスに向かう。

## ●多田礼子

美術評論家の故秋吉和夫氏に実力を見出され、以来中央美術協会に所属しながら全国を舞台に活動を続ける。クリスチャン・ラングロワメダリスト、赤十字チューリッヒ名誉アーティストに認定されるなど、世界からも高い評価を受ける。

## 特集

# 火消し魂、 ここにあり

「地域の尊い命、

大切な財産を守りたい」

安全で安心な毎日を送るために

日々、活動を続ける消防団。

彼らの活躍を追う。



火の